

区民要求の実現に6名の議員団が奮闘



区長に申し入れる、党港区議員団と同地区委員会

区議員団と地区委員会は「要望書」の提出に際し、保育園待機児童解消、「ちいばす」路線の拡大、建築物超高層化の見直し、駐輪場の増設など口頭で切実な区民要求の實現を区長に

「二〇〇七年度当初予算に対する要望書」を提出

日本共産党港区議員団 同「要望書」は、区内のと港地区委員会は十月十三日、「二〇〇七年度当初予算に対する要望書」を港区長に提出しました。

第三回定例区議会は、九月十四日から十月五日まで開かれました。今議会は〇五年度決算審議も行われました。風見区議をはじめ日本共産党の六名の議員は、自民・公明政権による高齢者への大重税から区民生活を守る立場で、要求の実現のために質問、条例提案を行いました。第三回定例区議会の主な内容、質問をお知らせします。

風見利男 (日本共産党 港区議会議員) 区政とあなたを結び

129

タウンネットワーク

Email kazami@jcp-minatokugidan.gr.jp
HP http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/

政治革新の道しるべ 真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 月2,900円 日曜版 月800円

商店会・町会の街灯への補助金増額を

党区議員団が条例提案を準備し各会派に呼びかけ

党区議員団は、街灯などへの補助金を増やすための「町会・商店会の街路灯補助金増額条例」を準備し、各会派に共同提案の呼びかけを行いました。多くの会派から「検討に値する」との話があり、長・くらしの相談室長が同席しました。

「要綱を改正して実施することもできる」と協議がまとまり、十月五日区長に、共産、自民、公明、民社クの区議会主要四会派が一緒に実施を申し入れました。

区長は、「(町会・商店会)の負担にならないように受け止めさせていた」と答えました。

党区議員団は、確実な実施に向けて奮闘するとともに、町会補助金の増額についても要求していきま

修学旅行費用の助成条例を提案

十月五日、共産党六名の議員は、区立中学校の生徒の修学旅行費用を五万円補助する内容の条例を提出しました。

都教育委員会の調べで、修学旅行不参加の生徒の二十三%が経済的理由をあげていたとの結果が出ています。

長引く不況、収入は減る一方、リストラなど雇用不安が増大する中で、高額な修学旅行費用は、支度や旅行先での交通費などを含め重い負担になっています。

保護者の負担を少しでも軽減し、すべての生徒が修学旅行に参加でき、充実した楽しい学校生活がおくれるよう願って提案しました。

今後、区民文教委員会で審議されます。

消防団員の出勤手当の引上げを

党区議員団は決算委員会で、昨年の決算委員会に続いて、消防団員の出勤費の引上げについて質問しました。

消防団員は生業のかたわら、火災、災害などから区民の生命と財産を守る活動を行っています。

ところが一晩中出勤しても出勤費は一回につき二千五百円しか支給されません。二十三年間改正がされていません。

余りにも低すぎることから、東京消防庁に引上げの要求をするよう質問しました。区は、「二十

数年間、出勤手当額を改正していない」ともあり、また、地域の防火防災のために日夜を問わず活躍している消防団員のご苦勞に報いるためにも、処遇の改善は必要。東京都の動向を踏まえた上で、適切に対応する」と答えました。

青山小学校で運動会

九月三十日、青山小学校の秋季大運動会が行われました。柔らかな秋の日差しの下、未就学の子どもの達のかわいらしい種目から、低学年の一生懸命の演技、高学年の力強くたくましい競技が行われました。

応援席からは、こどもさんやお孫さんへの力強い声援、拍手が送られて



なんでも相談会

毎月第3月曜日、午後6時30分より 青山福祉会館(仮設)北青山3-22
事前にご連絡いただくと幸いです。 連絡先...風見宅 3400-5015 控室 3578-2945

裏面もご覧ください。

国保またまた改悪

医療制度の改悪...あまりにもひどい高齢者いじめ

医療制度改悪に伴って国民健康保険条例の改悪案が提案されました。党区議団は反対。自民・公明・民主ク・区民ク・勇気の会・かがやき等多数で可決しました。

条例案は、七十歳、七十四歳の人の患者負担を一割から二割に。(二〇〇八年四月実施)さらに、七十歳以上で「現役並み」所得(現役「並み」の基準が引下げられ夫婦世帯で五百二十万円以上)の場合、患者負担を二割から三割に、また、長期療養が必要で療養病床に入院する人の食費を値上げし、居住費を負担させます(十月実施)。四年連続の国保料の引き上げにつづく改悪です。

高齢者は医療費負担の増加に、「死ね」というのか、これでは「うば捨山だ」、新聞には怒りの投書がたくさん寄せられています。

具合が悪くなっても懐具合を心配しなければならず、病気を悪化させない基本である早期発見、早期治療に逆行するものです。



特別養護老人ホームの増設計画を

南麻布の二百床が完成しても足りない

特養ホームの待機者は、七月末日現在三〇四名です。ところが今後の計画は、平成二〇年度開設予定の南麻布二〇〇床のみです。党区議団は、「待機者解消のために早急に特養ホームの増設計画を

「と質問しました。区は、「民間も含め特養以外は、平成二〇年度開設予定の南麻布二〇〇床のみです。党区議団は、「待機者解消のために早急に特養ホームの増設計画を

〔主な医療制度改悪の内容〕

- 自己負担... 1割 2割 2割 3割。(税制改悪で1割 3割になる人も)
- 療養病床への入院... 食費と居住費分(2万4千円 5万2千円) 低所得者は軽減あり。
- 自己負担限度額の引上げ(一般所得)
 - ...外来・1万2千円 2万4千6百円
 - ...入院・4万2百円 6万2千1百円
- 療養病床... 38万床 15万床に削減(医療保険適用型25万床 15万床、介護保険適用型13万床 全廃)
- 75歳以上の人たち... 新たな後期高齢者医療制度の創設に強制加入で、新たに保険料を徴収することになる。...年金から天引きを計画している。
- 後期高齢者医療制度を運営するのが東京都広域連合組合になり、区民の代表である区議会で審議するのでなく、広域連合の議会で保険料の引上げや給付などが決められてしまいます。



南麻布に建設される200床の特養ホーム

ちいばすの運行路線の拡大を

交通不便地域ではまったなしの課題

多くの区民と共産党の運動で、一昨年の十月から二路線の「ちいばす」の運行がはじまり、沿線の住民から大歓迎されています。一方、交通不便地域から引き続き区議会に請願が提出され、全会一致で採択されています。風見区議は決算委員会です、「青山・西麻布地域」など請願が採択された地域に「ちいばす」の運行を早急に具体化するよう質問しました。担当課長は、「九月に地域交通のあり方検討会を設置した。ちいばすの運行による成果と課題を整理した上で、区役所・支所改革、教育、観光、福祉などの視点や、行政がかかわるサービスとして公平性、効率性、採算性等を考慮し、今後区としての地域交通のあり方を検討していく」と答えました。

風見区議は、議会での請願採択の状況を委員にしっかりと伝え、早急に運行の結論が出るよう要求しました。

自立支援型ベッドに助成

四月以降認定の方も対象にして

介護保険制度の改悪で、十月以降、要介護一以下の方は介護ベッドが使用できなくなり、引き続き利用できる、区が支援を行うよう求めました。その結果、区独自に「自立支援型ベッド」をレンタルすることを決め、すでに多くの方の交換作業も行われ、ベッドが引き続き使えるようになって、「よかった」との喜びの声が寄せられています。

しかし、この「自立支援型ベッド」は、三月まで介護ベッドを使用していた方に限定しているため、四月以降要介護認定を受け、要介護一以下の人は対象になりません。介護ベッドを使用することで、一人トイレにきたりすることができ、自立を促すことになりました。四月以降の要介護認定者も当然対象にすべき



十月以降もベッドが利用できるようになりました。区からのお知らせを手に。